

海老名災害ボランティアネットワーク 平成30年度 第1回定例会議事録

開催日時：2018年5月10日（木）19時～21時

開催場所：海老名市総合福祉会館、第3娯楽室（1階）

出席者（敬称略）：大野（雅人）、小澤、佐々木、館、野中、野本、橋本、福田、星野、松井、三宅、山下、水本（記録）、計13名

（1）各担当より

会計（松井さん）より：2018年4月末日の残金 291,446円

平成30年度の会費納入済み：個人会員 17名、賛助会員 10名、団体会員 2団体

（2）今後の予定及び事業内容の検討（案件が多いため、この項を先に説明・討論した）

① 5月12日（土）9時30分～13時30分 「かながわ・よこはま防災ギャザリング」

主催：同実行委員会、共催：NPO 法人神奈川災害ボランティアネットワーク（KSVN）、公益社団法人SL 災害ボランティアネットワーク、協力：「防災塾だるま」など多くの団体、後援：神奈川県

海老名災ボラの会員として参加する方には交通費を支給するので、6月定例会までに会計に連絡。

★参加者：福田博、小澤昌平、星野隆一郎、大野雅人、大野真由実、山下康秀（6名）

② 5月14日（月）19時～21時、防災訓練関係の専門部会、会場：総合福祉会館、第3娯楽室

海老名災ボラでは、災害救援ボランティアセンター設置・運営訓練だけでなく、市民向けの様々な防災・減災訓練を実施してきた。また、自治会や各種団体でも、様々な防災・減災訓練が実施されている。海老名災ボラ内に防災訓練関係部会を設置し関係者の交流を通して、上記の防災訓練の現状を把握するとともに、防災・減災訓練の内容の向上を検討する。

（参加対象）山下（サンパルク650自治会防災指導員）、小澤（海老名コーポラス防災委員会）、星野（上今泉2丁目自治会長）、吉野（中央2丁目自治会）、大野雅（企業での防災訓練）、佐々木（神奈川県海老名市総合防災訓練）、山本（東日本大震災での救援ボランティアセンター）、中村（防災講演の概要）、その他：防災・減災訓練に関心の高い会員の方は誰でも参加できます。

③ 5月15日（火）9時30分～海老名防災関係三者定例会、社協の打ち合わせ室（市役所西棟）

テーマ：ビックレスキューかながわ・災害救援ボランティアセンター設営運営訓練・第2回作業部会での対応、その他。出席予定：福田、水本、野中

④ 5月29日（火）10時～11時45分、ビックレスキュー第2回作業部会

会場：海老名市役所7階702会議室、出席予定：水本、佐々木、野中

内容は第1回で出された課題の検討など、本番（8月26日）での活動内容に関して

（参考資料）「海老名市災害救援ボランティアセンター」マニュアル（平成22年4月発行）を、5月10日の定例会の時に配布した。福田が簡単に説明した。

★大きな流れは変わらないが、細かいところでの修正が行われた可能性があるため、平成22年4月以降にマニュアルが修正されているかどうか確認する。

⑤ 6月12日（火）夜、NPO 法人神奈川災ボラの総会、出席予定：橋本、福田、水本

橋本前代表が6月の神奈川災ボラ総会で理事を降りるので、福田現代表が海老名災ボラ代表として理

事となるように推薦願いを神奈川災ボラへ提出した。

⑦ 7月14日(土)午前～午後、神奈川災ボラ主催のコーディネーター養成講座(初級)の開催(追加)

海老名災ボラ主催の「コーディネーター養成講座」の第2日目が2月24日(土)に海老名で開催されたが、午後に予定されていた「災害時のICT利活用」は、講師の内田理(東海大学教授)が病欠のため、不十分な形で終わった。このため、神奈川災ボラから神奈川災ボラ主催の「コーディネーター養成講座(初級)」を海老名で開催したいとの要請があった。7月14日(土)の午前午後の総合福祉会館(2階会議室)を借りた。講座内容については、海老名災ボラから要望が出せる。

⑧ 7月25日(水)8時30分～2時間以内、有鹿小学校、えびなっこスクール(旧サマースクール)

有鹿小学校より「えびなっこスクール」の申込があり、昨年も災ボラが実施した「ブルーシートでテント作りとロープワーク」を7月25日(水)午前中に予定している。

(3) その他の検討事項

① 定例会の開催日の件：4月14日の総会時に実施したアンケート結果：木曜日がやや多い。

本年度の総会でのアンケート結果(回答総数10名)に基づくと木曜日が多い。本日の定例会に集まった会員は13名なので、第〇週の木曜日にするかについて定例会の討論で決定した。

★定例会出席者(13名)で検討した結果、引き続き毎月第1木曜日に開催することを決定した。

② 海老名市ボランティア連絡協議会(通称「ボラ連」)への加盟について

海老名災ボラは、これまで、ボラ連役員対象の防災・減災訓練の実施(3年前)、「手話サークルさつき会」(ボラ連加盟団体)との連携による聴覚障がい者に対する防災・減災訓練の実施、三館フェスタ(旧ボランティアフェスタ)への参加など、ボラ連との交流を続けてきた。災害発生時における要援護者に対する支援などボラ連加盟団体との連携を、さらに深める必要があるとして提案した。また、印刷機の利用・ボランティア室の使用が正式にできるようになるという利点もある。

ボラ連は、年会費3000円、年1回の総会(役員5名)、加盟団体から選出された者(2名)をもって、定例会を構成する。定例会は年10回(1月と8月を除く第2金曜日が多い)。事務局は海老名市社会福祉協議会職員。(会則などを参照)

★ボラ連のリーフレットなど参考に定例会出席者で検討した結果、加盟申請をすることを決定し、5月11日に福田代表が加盟申請書を社協ボランティアセンターに提出した。

③ 海老名災害ボランティアネットワークのホームページ(HP)のリニューアルについて

★5月2日(水)に開催された広報部会での話し合いを受けて、リニューアルされたHPの披露と説明が担当の館さんからなされた。多くの人に読まれるようにパソコンだけでなく、スマホやタブレットからも閲覧できるようにした。また、会員が投稿できる欄を作ったので、次のIDとパスワードを使って、この欄に、写真やメッセージなどを送って欲しい。

ID及びパスワードは次の通り。ID ebinasaibora パスワード edvn2018

④ 会計担当の松井さんより立替精算とイオンギフトカードについての説明

★購入品の立替や交通費発生の際は、定例会前に会計担当(松井)までメールにて連絡願います。

定例会当日に精算金額をお渡しします。

★イオンより贈呈されたギフトカード（21,300円分）は5月中に商品交換を終えなければならいため、何を購入したらよいかの意見を求めた。結論は、会計担当と水本副代表に一任となった。

⑤ 「海老名災害ネットワークだより」の発行及び自治会回覧の時期変更について

現在、「海老名災害ネットワークだより」5月1日と11月1日付で発行され、海老名市内63自治会に4月下旬と10月下旬に配布・回覧されている。（印刷部数は約5300部）。5月1日の発行のため作成・印刷の時期が、災ボラ総会直後のため作業が大変な実態がある。また、自治会から見ると、回覧物が多いため、「海老名災ボラネットワークだより」埋もれてしまい、目に付きにくいという状況がある。そのため、配布・回覧時期を5月下旬と11月下旬に変更したいので、海老名市へ申請する。

⑤ 海老名災害ボランティアネットワークの会員名簿の会員内部への公表の件（時間の関係で次回へ）

現在、海老名災ボラの会員名簿（個人会員、賛助会員、団体会員）は、代表、副代表、会計が管理している。会員名簿の公開の件は、平常時における会員相互の交流促進、災害時における近隣会員との連絡（非常時の連絡網など）が目的である。早急な結論を出して、会員相互に対立が生じれば、かえって交流促進の妨げとなる。★時間の関係で、改めて次回に検討することとした。

（4）活動報告（4月定例会以降～5月定例会まで）

① 4月7日（土）イオン黄色いレシートキャンペーンの表彰式：出席：橋本、水本
4月10日（火）イオン黄色いレシートキャンペーン（自由参加）、出席：水本

② 4月9日（月）平成30年度海老名災ボラ定期総会資料（議案書）の印刷など

・9時30分～11時30分、議案書30年度予算の修正と送付、出席：福田、松井、三宅

・13時30分～17時、出席：福田、杉下、小沢、橋本、水本、野本、三宅

（印刷・封入作業は、災ボラの事業と同等の活動なので、出席者は交通費を会計に請求して欲しい）

③ 4月11日（水）13時30分～14時45分、「ビックレスキューかながわ」の全体会議

「ビックレスキューかながわ」（平成30年度神奈川県・海老名市合同総合防災訓練）

海老名市役所401会議室（4階）、出席：福田、水本、佐々木

④ 4月14日（土）14時～16時：第17回（平成30年度）海老名災ボラ定期総会

・4月14日（土）13時：会員集合、会場設営。13時30分～受付開始、14時開会～16時頃閉会
会場：海老名市総合福祉会館・元気クラブ室（1階）

会員総数（個人会員、賛助会員、団体会員）43名、総会出席20名、委任状提出18名、合計38名で、総会成立。議案は全て了承。メーリングリストで配信された「第17回定期総会の報告」を参照《総会終了後》

・新会員向けオリエンテーション：会場「元気ひろば」、主に、総会に参加した新会員との討論会。

会員名簿作成が話題となったが、何かを決定する場ではないので、定例会で議論することにした。

・懇親会17時～19時、幹事（野本、水本）、会費：2500円（500円を出席者に戻した）

会場：総合福祉会館第2娛樂室（1階）、出席：災ボラ会員10名、危機管理課5名、合計15名

⑤ 4月18日(水)13時～海老名災ボラ・ネットワークだより(2018年5月1日号)の印刷
総合福祉会館の窓口前の印刷機のところで印刷(自治会回覧用5000部+その他配布用300部)。
会議室で、市から提供される「自治会配布一覧表」に基づき、自治会ごとの部数を封入し包装して、市役所地下の所定の場所に持ち込んで並べた。

⑥ 4月24日(火)10時～11時45分、ビックレスキューかながわ」第1回作業部会

会場：海老名市役所、702会議室(7階)、出席：海老名災ボラ：福田、水本、佐々木
海老名市危機管理課3名(事務局)、神奈川県安全防災局1名、海老名社協4名、県社協1名、神奈川県災ボラ4名、要約筆記「風」(海老名市内の活動団体)1名、神奈川バイクネットワーク2名など
8月26日のビックレスキューでの活動について各団体から要望が出された。

・昨年のビックレスキューかながわ(小田原市の河川敷が会場)では、政府要人が出席するため、警備の関係上、会場外へ出る活動はできなかった。今回は、会場外へ出る活動ができるのか?(バイク関係)海老名市危機管理課は、現在、その件についても今後、検討したいと述べた。

・神奈川県災ボラから「神奈川県災ボラ、県社協、県共同募金会、県サポートセンター(神奈川県政策局)の4者が、同日同時刻に、県サポートセンター内に情報センターを設置し情報訓練を実施するので、海老名災害救援ボランティアセンターに参加させてほしい」(メールや無線及び)との要望があった。

・8月26日の本番の前に「予行演習」を予定しているか?との質問があり、社協は今後、実施するかどうかも含めて検討すると回答した。

・水本副代表が平成18年(2006年)9月3日(日)に開催された「神奈川県・海老名市合同防災訓練」に関する資料を社協に提供した。(さらに、その資料を危機管理課がコピーした)

⑦ 5月2日(水)18時30分～21時：第1回海老名災ボラ広報部会

出席：福田、橋本、舘、野中、水本 会場：海老名市総合福祉会館・第3娛樂室。

結論：海老名災ボラのホームページの目的は、主に海老名市民及び周辺住民に対して、防災減災に関する情報の提供、災ボラの活動のPR、会員の募集など、災ボラの外部へのPR手段として位置づける。災ボラのホームページが読まれていない現状を考え、ホームページの内容をリニューアルする。

ホームページのリニューアルについては、広報部会の舘登志子さんをお願いし、現在、舘さんが作成中である。本日の定例会で舘さんがホームページの利活用方法について説明した。ホームページを作成中だが、会員の皆さんから災ボラの活動に関する写真を送って欲しいとの要望があった。

メーリングリストなど会員内部の連絡・通信手段については、ホームページと切り離して別に管理する。年度の途中から会員になった人にも閲覧できるようにデータを格納できるようなメーリングリストについて、広報部会の野中さんに探してもらうことになった。(現在、検討中)

次回：6月7日(木)第1木曜日、19時～21時、総合福祉会館、第3娛樂室(1階)

次次回：7月5日(木)19時～21時、総合福祉会館、第3会議室(2階)